

目標に向けて正念場

ごみ半減まで ラストスパート!!

あとちょっとが
なかなか減らない!



皆様のご協力・ご尽力により、ピーク時の平成12年度に82万トンであったごみの量は、昨年度42万トンを切るところまで減ってきました。ごみ減量の取組が進む中、今後は減量のスピードが落ちてくると予想されます。

目標の39万トンまで再度加速させるために、今一度、取組を点検いただき、更なるごみの発生抑制、分別・リサイクルにご協力をお願いいたします。

平成28年度のごみの量

京都市受入量

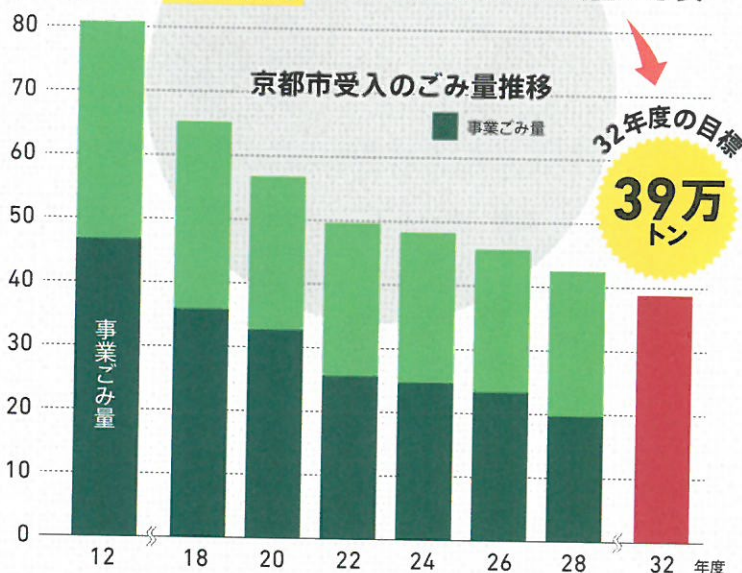
41.7万トン

前年度比で
2.2万トン減

平成12年度のピーク時(82万トン)から

半減の目標に向けて更に減量が必要!

単位: 万トン



ごみ減量は何のため?

クリーンセンター 2工場で

処理できるごみ量は39万トン

ごみを処理するクリーンセンターは、現在3工場。これらを長く使用するため、今後1工場ずつ、ごみ処理を停止して大規模改修を行う必要があります。そのときには、2工場で処理するため、ごみ量を39万トン(うち焼却量35万トン)まで減量しなければなりません。

年間のごみ処理費用削減効果

マイナス138億円/年(ピーク時比)

皆様のごみ減量のご努力により、平成27年度のごみ処理費用は、ピーク時の平成14年度から年間138億円もの削減ができました。ごみの発生抑制、分別を続けることが、環境負荷軽減とコスト削減につながっていきます。

内陸の都市である京都市の

貴重な最終処分場の寿命は残り50年

私たちの1年間のごみの量が39万トンまで減ったとしても、市内で唯一の最終処分場が、残り50年で埋め尽くされることになります。できる限りごみの量を減らし、より長く使用していく必要があります。



東部山間埋立処分地「エコランド音羽の杜」

更にごみを減らすため、
皆様のご協力を
お願いいたします!



ごみ削減に役立つ豆知識
ごみゅにけーしょん



Q: 京都市のクリーンセンターに持ち込まれる「持込ごみ」のうち割合が最も高いのは?

①木質ごみ ②紙ごみ ③生ごみ

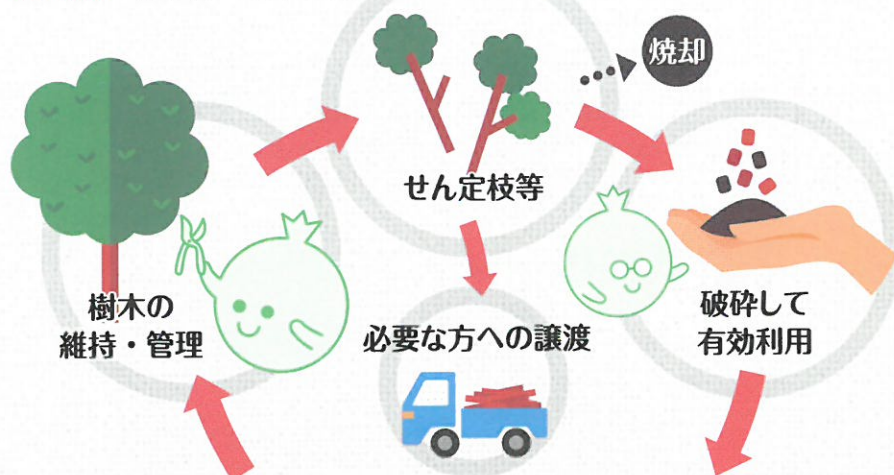
※答えは裏面にあります。



せん定枝などの活用術!

枝葉・落ち葉等のせん定枝や刈草は資源として生まれ変わります!

ご協力をよろしく
お願いいたします。



様々な製品に生まれ変わって、私たちのところへ戻ってきます。



せん定枝や刈草を資源化施設で再生利用させることが、ごみ減量、資源の有効活用となります。



せん定枝・刈草の
リサイクル施設を
紹介しているよ!

詳しくは、こちらをご覧ください。

せん定枝・刈草のリサイクルBOOK

検索

植木せん定業務委託契約仕様書

業務仕様書にリサイクル可能な木屑は、民間リサイクル施設等で再資源化することも書いておこう!



松田直子
株式会社Hibana/京都ベレット町家ヒノコ 代表取締役。
愛媛県生まれ。2006年に㈱Hibanaを設立。寺町二条「京都ベレット町家ヒノコ」の運営など、森林バイオマスを活用した暮らしを京都から提案・発信していくことを目指している。

京都の暮らしや伝統文化に魅せられ、京町家に住み始めて14年。寒くなると、カラッコロ、コロカラッ、可愛らしい音がします。この音の正体は、私が愛用する木の燃料のストープ「ペレットストープ」です。燃料として使う京都産のスギやヒノキの間伐材を細かく碎き押し固めて作られた「木質ペレット」が、燃やす部分に転がり落ちる時の音です。マンションやビルでも使われていて、京町家の弊社店舗「京都ベレット町家ヒノコ」でも、今では冬にかかせない大切な友となりました。「木質ペレット」は、エネルギーとして利用した後は数パーセントが木灰になりますが、肥料や台所シンクの掃除などに使え、最後までごみになりません。また、地域の間伐材の持続的な活用と、継続的に人の手が入ることによる、荒れた森から美しい森への再生や、エネルギーの地産地消にもつながります。今後も、京都が誇る「木の文化」を伝える活動や、木が好きな人を育てる木育(もくいく)など、様々な取り組みにチャレンジし、次世代に豊かな森を引き継いでいきます。

ごみと木質廃棄物
松田直子 株式会社Hibana

京の知恵
COLUMN

ごみ減量にまつわる知恵を
京都で活躍する人や企業がコラムで紹介!

ごみゅにけーしょんQ&Aの答え: ①木質ごみ

「持込ごみ」では、木質ごみの割合が約45% (平成25年度)と高く、せん定枝、刈草などリサイクル可能なものが搬入されています。大切な資源を有効活用するため、「へらす」「わける」を実践しましょう!

※データは京都府環境政策局調査から



事業ごみ収集のご相談は京都環境事業協同組合まで

「京都市推奨事業系ごみ袋(透明袋)」も販売されています!

★ごみ袋の売上げの一部は市内児童養護施設等に寄付されています!

相談
窓口

Tel. 075-691-5517
受付時間 月~金 13:00~17:00

お問合せは
お気軽に!



※この印刷物は、不要になりましたら「雑がみ」としてリサイクルできます。

発行: 京都市環境政策局ごみ減量推進課
京都市中京区河原町通二条下る一之船入町384番地 ヤサカ河原町ビル8階
TEL: 075-213-4930 FAX: 075-213-0453

下記ホームページに一般廃棄物収集運搬業許可業者の連絡先・PR内容を掲載しています。
ぜひご覧ください。

京都市 一般廃棄物許可業者

検索

<http://www.city.kyoto.lg.jp/kankyo/page/0000001025.html>